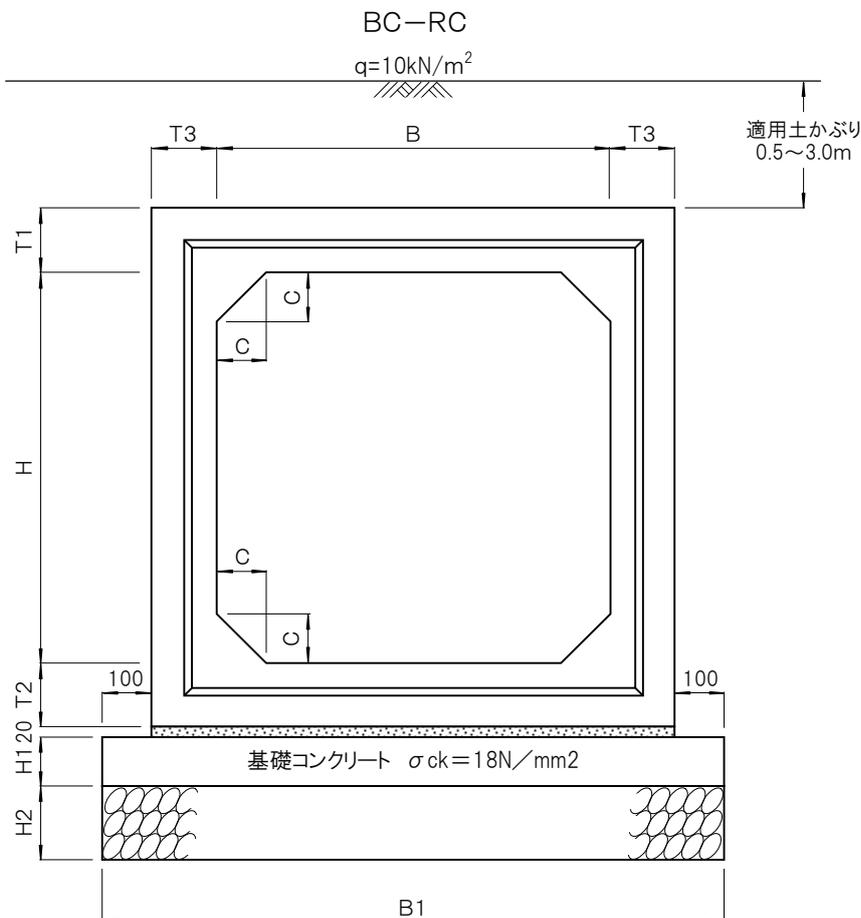


プレキャストボックスカルバート BC



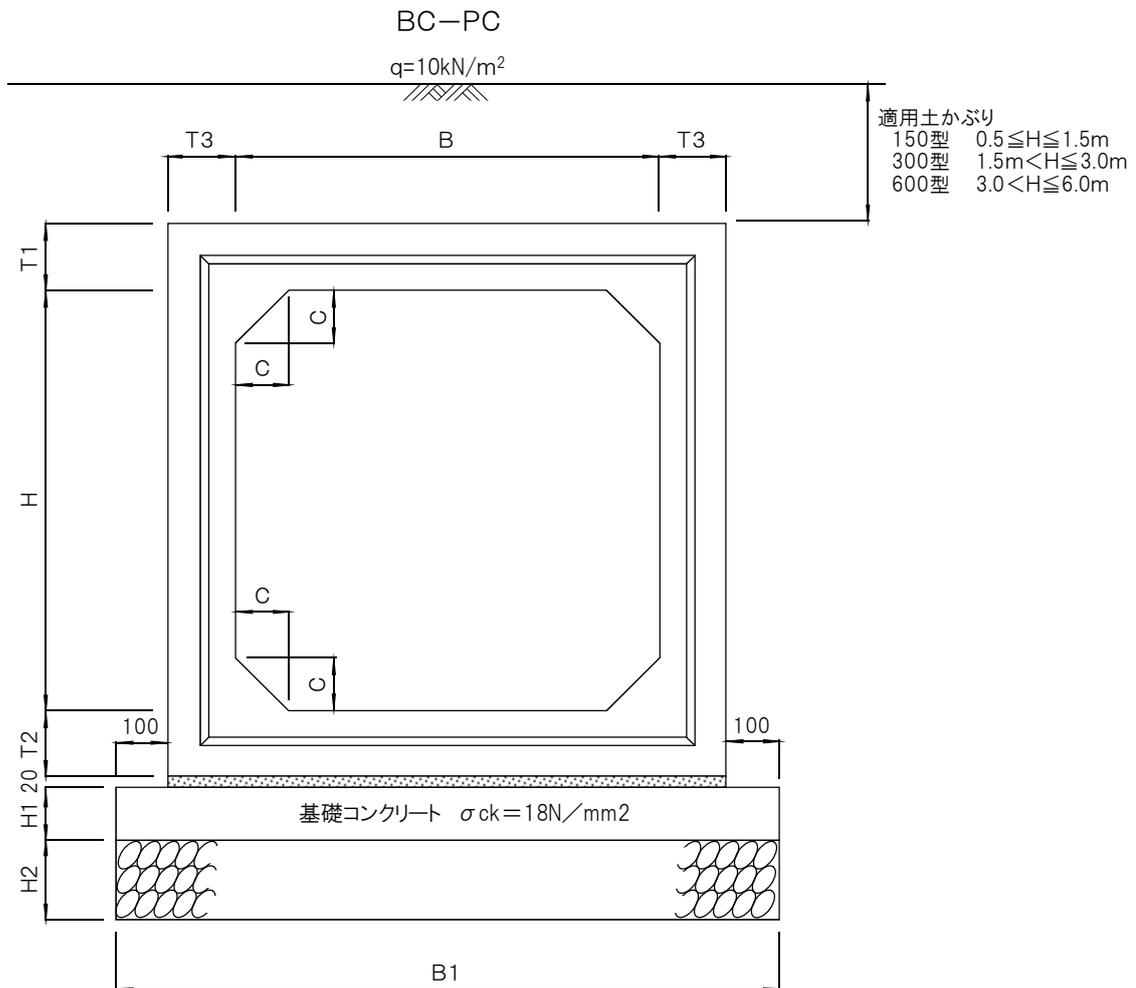
注意事項

1. プレキャストボックスカルバート（RC）は、鳥取県認定グリーン商品の使用を原則とする。（ただし、県内で製造されていない種類は対象外。）
2. プレキャストボックスカルバートは、JIS A 5372 附属書 C（規定）暗渠類 推奨仕様 C-4 鉄筋コンクリートボックスカルバート 同等品とする。
3. 適用土かぶりは、0.5mから3.0mとする。ただし、工事中に工事車両が通行する時の短期の最小土かぶりは0.2mとする。
4. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=35\text{N/mm}^2$ 以上とする。
5. RC構造の1種は主として通路、一般水路に、RC構造の2種は腐食性環境の水路に使用する。
6. 以下のような場合には、各部材をPC鋼材又は高力ボルトにて縦方向に連結すること。
 - ・地下水位が高く止水性を確保する必要がある場合
 - ・カルバートの縦方向に荷重が大きく変化する場合
 - ・基礎地盤が良好でない場合
 - ・基礎地盤の支持力が変化すると予測される場合
 - ・耐震構造でPC鋼材が必要な場合
 - ・道路を横断して埋設する場合

寸法表及び材料表(1種、2種)

(10m当たり)

種類		寸法表									材料表								
B (mm)	H (mm)	製品長 L (mm)	T1 (mm)	T2 (mm)	T3 (mm)	C (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	B1 (mm)	ボックスカル パート(RC) (本)	敷きモルタル 1:3 (m ³)	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ (m ³)	基礎砕石 RC-40 (m ²)	型枠 均し基礎コンクリート (m ²)					
600	400~1000	2000	130	130	130	100	100	150	1060	5.0	0.172	1.060	10.600	2.000					
700	500~1000								1160		0.192	1.160	11.600						
800	500~1100								1260		0.212	1.260	12.600						
900	500~1200								1360		0.232	1.360	13.600						
1000	500~1500								1460		0.252	1.460	14.600						
1100	500~1500					150			140		140	150	150	200	1560	0.272	2.340	15.600	3.000
1200	500~1500														1660	0.292	2.490	16.600	
1300	600~1500														1760	0.312	2.640	17.600	
1400	600~1700														1860	0.332	2.790	18.600	
1500	600~1700														1980	0.356	2.970	19.800	
1600	700~2000		2100	0.380	3.150		21.000												
1700	700~2000		2200	0.400	3.300		22.000												
1800	800~2000		2300	0.420	3.450		23.000												
1900	1000~2000		2420	0.444	3.630		24.200												
2000	800~2000		2520	0.464	3.780		25.200												
2100	1000~2100		2660	0.492	3.990	26.600													
2200	1000~2200		2760	0.512	4.140	27.600													
2300	1000~2300		2860	0.532	4.290	28.600													
2400	1000~2400		2980	0.556	4.470	29.800													
2500	1500~2500		3100	0.580	4.650	31.000													
2600	1500~2600	3240	0.608	4.860	32.400														
2700	1500~2700	3340	0.628	5.010	33.400														
2800	1500~2800	3440	0.648	5.160	34.400														
2900	1500~2900	3580	0.676	5.370	35.800														
3000	1500~3000	3680	0.696	5.520	36.800														
3100	1500~2800	3800	0.720	5.700	38.000														
3200	1500~2800	3900	0.740	5.850	39.000														
3300	1500~2800	4000	0.760	6.000	40.000														
3400	1500~2800	4100	0.780	6.150	41.000														
3500	1500~2800	4200	0.800	6.300	42.000														



注意事項

1. プレキャストボックスカルバート（PC）は、JIS A 5373 附属書 D（規定）暗渠類 推奨仕様 D-2 プレストレストボックスカルバートとする。
2. 適用土かぶりは、150 型では $0.5 \leq H \leq 1.5\text{m}$ 、300 型では $1.5\text{m} < H \leq 3.0\text{m}$ 、600 型では $3.0 < H \leq 6.0\text{m}$ とする。ただし、工事中に工事車両が通行する時の短期の最小土かぶりは 0.2m とする。
3. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$ 以上とする。
4. 以下のような場合には、各部材を PC 鋼材又は高力ボルトにて縦方向に連結すること。
 - ・地下水位が高く止水性を確保する必要がある場合
 - ・カルバートの縦方向に荷重が大きく変化する場合
 - ・基礎地盤が良好でない場合
 - ・基礎地盤の支持力が変化すると予測される場合
 - ・耐震構造で PC 鋼材が必要な場合
 - ・道路を横断して埋設する場合

寸法表及び材料表(150型、300型)

(10m当たり)

種類		寸法表								材料表				
B (mm)	H (mm)	製品長 L (mm)	T1 (mm)	T2 (mm)	T3 (mm)	C (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	B1 (mm)	ボックスカル バート(PC) (本)	敷きモルタル 1:3 (m ³)	基礎コンクリート $\sigma_{ok}=18N/mm^2$ (m ³)	基礎砕石 RC-40 (m ²)	型枠 均し基礎コンクリート (m ²)
2000	1000~2000	2000	150	150	150	150	150	200	2500	5.0	0.460	3.750	25.000	3.000
2100	1000~2100		180	180	180				2660					
2200	1000~2200								2760					
2300	1000~2300								2860					
2400	1000~2400								2960					
2500	1500~2000					200			200		200	3060		
	2100~2500		3100											
2600	1500~2600		3200											
2700	1500~2700		3300											
2800	1500~2800		3400											
2900	1500~2900		250	250	200							3500		
3000	1500~3000											3600		
3100	1500~2900		3800											
3200	1500~2900		3900											
3300	1500~2900		4000											
3400	1500~2900		4100											
3500	1500~2500		4200											
3600	1500~2500		300	300	250	4300								
3700	1500~2500					4400								
3800	1500~2500					4500								
3900	1500~2500	4600												
4000	1500~2500	4700												
4500	1500~2500	5200												
5000	1500~2500	5700												

注) 600型を用いる場合の基礎コンクリート及び基礎砕石の寸法は、上表に準じること。